

2022.8.10

No1

健康優良企業の認定

酷暑の中、本当にお疲れ様です。

この状況でマスク着用で働かれている皆さんの努力にただ感謝の言葉しか思い浮かびません。どうか体調を崩されぬように願っています。とても嬉しい事に我が社が健康優良企業「銀の認定」をいただく事が出来ました。これまでもさまざまな取り組みを定期的に行い、その努力が認められての事です。

各店で担当になっている方、また積極的に協力いただいている皆さんへあらためてお礼申し上げます。裏方で尽力いただいた方も多数います。改めて、この銀の認定なものかどのようなものが簡単に紹介すると、従業員が健康に働く環境が整っているかどうかを示すものです。

健康診断を皆が定期的に受けているかどうか？とか、

飲食物、食べ物、体が良くなる物かどうか？

運動も定期的に行っているかどうか？

職場のコミュニケーションは良好か？というもので、18の項目があり、採点が合格点に達していないとなりません。

しかし、認定をいただけたからと言って、実態がかけ離れていては意味がありません。まだうちの会社は質の伴っていない部分もあると思います。健康診断を受けたとしても、異常が見つかっているのに治療せずに放置していたら何のための検査なのかわかりません。

健康になるために必要な改善を図るための検査にしましょう。

今、世界的にコロナウイルスが流行し、日本は第七波が猛威を奮っています。同じ営業所で複数人感染すればたちまち業務が滞る状況になります。その大変さは各店長が何度も経験された事だと思います。慢性的な病気を抱える人が増えたならばコロナの危機的状況が常態化し、絶えず向き合っているような事になります。会社全体で生産性を上げる努力をしていますが、一番の基本が体調管理です。

実はこの度、新宿の労働基準監督署に呼ばれ、うちの会社の労務の実態調査をされました。ちょうど、価格改定の時期の労務管理データを持って来るように指示されたので、とても不利な状況でした。

2022.8.10

No.2

しかし、結果的には、中小企業としては、珍しくよくやっていると言
褒めていただけました。

一事業所の人数の枠を超える前から産業医を置いたり、
有給奨励の設定と管理、残業時間の管理と支払いについても、
「とても良いですね!」と言っていたけました。

同行いただいた社労士の先生にも、自分が担当している会社は数多く
あるが、トップクラスで良いと言っていたけました。

普段、行き届いていない所を責められるばかりでなくて、こういうお言葉は
本当に嬉しく、更に努力をしようという気持ちにさせられました。

ただ、やはり是正勧告を受けた点もありました。

さらし協定の提出が今回遅れて提出された事と『過重労働』
についてです。これから先は、残業は内容と時間の申請をし、上長
の許可のもと行うよう徹底し、一定の時間以上の残業は行わせない
ようにしなくてはなりません。強制的に労働時間を減らす措置を構い
報告をしなくてはなりません。

ダブルワークの過重労働は、把握している人にはうちの会社か、相手先の
会社のどちらかの労働時間を削らなくてはなりません。

この件に関しては、この先国が本腰を入れて企業を取り締まるのだと
いう強い意志を感じました。従業員の働く時間は減り、賃金は
上がり続けるので、何も変化しなければ多くの中小企業に倒れて
行く事になるでしょう。物価高にインボイス制度も重なって本当に大変です。
戦国武将の毛利元就は、子供達が互いに協力するようにと
授けた三本の矢の話は有名です。

一本の矢だとすぐに折れてしまうが、三本にすると簡単に折れない、
というものです。。。。

しかし、集団だから起こる傍観者効果というものも存在します。
「誰かがやってくれるだろう」と、皆が見過し放置されてしまう事です。
更には、「自分ひとりが楽しても平気だろう」と考える心理現象もあり、
この現象を、フランスの農学者、マキシミアン・リングエルマンは
「社会的手抜き」と呼び、綱引きや重い荷物を引く時には

2022.8.10

№5.

人数が多ければ多いほど一人当たりの発揮する力が減るという「リンドベルマン効果」を発表しました。こんな事に中小企業で起こるとしたら会社は傾いてしまいます。

大企業が耐えられるのは、一人当たりの稼ぐ粗利額が桁違いに高いからです。

一人一人が、自身の働きが会社を支えているのだという当事者意識を持ち、自分のやるべき事は何か？ 何のために、誰のためにそれを行うか？という所まで理解する必要があるのです。

だいぶ前から、各店で「日時決算書」を導入する事を薦めていますが、どれほどの店が実践出来ているでしょうか？ わかりなければ直接、店に行き、たっぷり時間をかけて説明しますので、自店の働き手のひとりひとりの活躍状況を把握するよう努めてください。

これからは、時間は貴重な資源です。勤務時間内は効率の良い方法でしっかりと働き、健康的で高い生産性を発揮する働き手に高い賃金を支払える仕組みとなるよう、スピードを早めて改革して行くつもりです。そして次なる目標として健康優良企業「金の認定」を目指したいと思っています。